

2025年2月13日

各位

会社名 株式会社ACSL
代表者名 代表取締役CEO 鷲谷 聡之
(コード番号: 6232 グロース)
問合せ先 取締役CFO 早川 研介
(TEL. 03-6456-0931)

営業外損益及び特別損益の計上に関するお知らせ

当社は、2024年12月期第4四半期連結会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）における営業外収益（為替差益）、営業外費用（支払利息及び持分法による投資損失）、特別利益（新株予約権戻入益）及び特別損失（減損損失、投資有価証券評価損、関係会社整理損及び事業所閉鎖損失）の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の内容

当社は、主に外貨建債権の外国為替相場変動に伴う評価替えにより、22,458千円の為替差益を営業外収益に計上しております。この結果、2024年12月期第4四半期連結累計期間における為替差損は、105,520千円となります。

2. 営業外費用（支払利息及び持分法による投資損失）の内容

当社は、銀行からの借入に伴う費用として、7,673千円の支払利息を営業外費用に計上しております。

当社の持分法適用関連会社である ACSL India Private Limited の決算報告に基づき、持分法による投資損失 2,785 千円を営業外費用に計上しております。この結果、2024年12月期第4四半期連結累計期間における持分法による投資利益は、49,891千円となります。

3. 特別損益（新株予約権戻入益）の内容

当社は、当社の取締役及び従業員に対して、ストック・オプションとして新株予約権を付与しておりますが、権利保持者の失権（退職）に伴い、当該新株予約権について新株予約権戻入益 8,121千円を特別利益に計上しております。

4. 特別損失（減損損失、投資有価証券評価損、関係会社整理損及び事業所閉鎖損失）の内容

当社が保有する固定資産について、会計基準に則り帳簿価額と回収可能価額について比較検討を行

った結果、減損損失 48,327 千円を特別損失に計上しております。

当社の連結子会社である ACSL 1 号有限責任事業組合が保有する投資有価証券について、取得価額に比べて実質価額が著しく下落したため、会計基準に則り判定を行った結果、投資有価証券評価損 99,311 千円を特別損失に計上しております。

当社は、シンガポール子会社である ACSL INTERNATIONAL PTE. LTD. の解散及び清算に伴う損失として、関係会社整理損 2,754 千円を特別損失に計上しております。

当社は、2024 年 2 月に発表した、売上・収益力向上を重視した事業改革に基づき、間接費用の削減として事業所の閉鎖を行った結果、事業所閉鎖損失 11,820 千円を特別損失に計上しております。

5. 業績に与える影響

上記、営業外損益及び特別損益の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2024 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上